

情報電子工学科 学会発表

学会名	日本デジタルゲーム学会2017年夏季研究発表大会
演題名	ナラティブ的思考の一解釈に注目したトレーディングカードゲーム要素を用いてゲーミファイするプログラミング支援の試み
発表者	黒崎奏滯、大塚誠也、小川充洋
内容	<p>本発表は、プログラミング言語の習得支援について、その困難と解決方法について論じたものである。本発表では、論理的なプログラミング言語や習得に一定の困難がある一方、一定の論理的な体系を持ちながらも幅広く受け入れられているシステムとして、トレーディングカードゲーム(TCG)に着目した。また、TCGのカード上テキストの分析から、これがLabov と Waletzky による物語 (Narrative, ナラティブ) の分析によって示された構造に類似するとの示唆を得た。このことから、TCGのルールや遊戯の認知において、ナラティブモードでの思考が貢献しているとの仮定を導いた。また、プログラミング要素をTCGのカードに似た物語で表現し、それらをいわゆる「デッキ」として整列させることでプログラムを表現すれば、幅広く学習が可能になると考え、その実現可能性について論考した。</p>